

## □ 要請番号 (JL02117A14)

募集終了



| 国名    | 職種コード 職種 | 年齢制限 | 活動形態 | 区分 | 派遣期間 | 派遣隊次              |
|-------|----------|------|------|----|------|-------------------|
| カンボジア | G115 水泳  |      | 個別   | 新規 | 2年   | ・ 2017/3 ・ 2018/1 |

## 【配属機関概要】

## 1) 受入省庁名 (日本語)

教育青年スポーツ省

## 2) 配属機関名 (日本語)

カンボジア水泳連盟(コンボンチャム競泳プール)

## 3) 任地 (コンボンチャム) JICA事務所の所在地 (プノンペン)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バスで 約 3.0 時間)

## 4) 配属機関の規模・事業内容

カンボジアオリンピック委員会に加盟する競技者団体である同連盟は、プノンペン市のオリンピックスタジアム内に競泳プール(50m×20m)を所有・管理し、ナショナルチームとして約30名の選手を擁している。2012年のロンドンオリンピックにおいても、50m自由形に男女各1名の選手を出場させた。また、有望な人材を見出すべく小中学生を対象とした水泳教室を開催している。今般、有志により選手育成の第二拠点として建設が進められてきたコンボンチャムのプールが完成した。

## 【要請概要】

## 1) 要請理由・背景

カンボジアへの水泳隊員派遣は1965年まで遡るが、政変や内戦の影響でボランティア派遣自体が長く中断となった経緯があり、その間に人材も施設も大部分が失われてしまった。しかしこの20年ほどの間に復興が進み、競技人口は回復しつつある。未だ東南アジア地域でも上位のレベルには達していないが、水泳連盟が自らの力で選手を育て、オリンピックへも出場するに至っている。その状況下、1960年代のJVに指導を受けた経歴のある前水泳連盟会長(故人)が晩年に、さらなるレベルアップを目指し、若い選手や指導者たちに、確かな技術と意欲を持った日本のJVから指導を受ける機会を与えたいという趣旨で派遣要請を提出、2016年2月から首都プノンペンの本拠地へ水泳JVが派遣されている。この度、地方都市コンボンチャムのプールが完成した為、もう一人水泳JVを派遣するという合意があり、現会長も引き続きそれを希望している。

## 2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

- カンボジア人のコーチと共に、選手たちへの指導・助言
- 様々な年齢層・レベルの子供に対するレッスンをを行い、新たな指導法の提案と実践を行う
- 他の水泳隊員とも協力し、指導書の作成を行う

## 3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

上記競泳プール(50m)・ロッカールーム・事務局執務スペースの机

## 4) 配属先同僚及び活動対象者

50代から60代の男性コーチ2名  
20代から30代の選手兼任コーチ1名

## 5) 活動使用言語

クメール語

## 6) 生活使用言語

クメール語

## 7) 選考指定言語

## 【資格条件等】

[免許]：（ ） [学歴]：（ ） 備考：  
[性別]：（ ） 備考： [経験]：（ ） 備考：  
[参考情報]：  
・スポーツ指導者資格があると良い

### 任地での乗物利用の必要性

自転車

## 【地域概況】

[気候]：（熱帯モンスーン気候） 気温：（22～38℃位） [電気]：（不安定）  
[通信]：（インターネット可 電話可） [水道]：（安定）

## 【特記事項】

資格条件に関して、必須ではないが、日本水泳連盟公認水泳コーチ若しくは水泳指導員の資格を有していることが望ましい。